

西濃農林事務所の普及活動状況

平成27年3月24日現在

今月の重点活動

■新規就農者等 **新規就農交流会の開催**

3月21日に西濃農林事務所主催による新規就農交流会を開催した。就農3年以内の新規就農者や就農希望者等を対象とし、就農に関する不安や疑問の解決と相談ができる仲間づくりに繋がることを目的にした。

交流会では、先輩農家の2人の就農から現在に至るまでの体験談を聞き、農業への前向きな思いにも触れ、参加者は心に感じる部分もあったように思われる。農林事務所からは就農支援策の紹介を行い、県就農支援センターの施設見学を行った。

今回のような作目をまたいだ管内新規就農者の交流会は、初めてのことであり、初対面の参加者の間で会話が弾まない場面もあったが、今後の仲間づくりに繋がっていくよう支援していく。

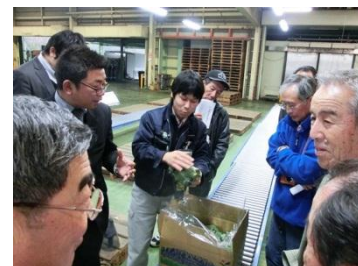


【新規就農交流会の趣旨等の説明】

活力ある新産地づくり

■ブロッコリー **ブロッコリー先進地視察**

3月18～19日にブロッコリー大垣部会は鳥取県ブロッコリー産地を視察し、真空予冷によるコールドチェーン出荷体制、化学合成肥料を70%削減した特別ブランドの立ち上げ・テレビ、雑誌を使った販売戦略等について情報収集を行った。また、ブロッコリー安八部会では、2月19日に研修会としてブロード(株)を視察し、新品種の開発状況及び栽培のポイントについて情報収集を行った。



【視察の様子】

売れる農畜産物づくり

■小麦 **良品質小麦の安定生産**

今年の小麦の茎立期は「イワイノダイチ」が3月上旬頃、「農林61号」が3月中旬頃、「さとのそら」が3月中下旬頃となり、昨年並みからやや早めの生育（海津市調査）である。播種の早い「農林61号」ほ場では、縮萎縮病による葉の黄化症状が見られるが、「イワイノダイチ」と「さとのそら」では葉の黄化は見られず、抵抗性品種の特性が確認された。一方不破地域では3月上旬調査で草丈、茎数ともに昨年を下回っていた。3月10日からの低温の影響で早い播種（10月下旬）の「イワイノダイチ」での凍霜害が懸念される。



【小麦ほ場茎葉処理除草剤調査】

農業普及課は2月より各地域で穂肥施用を指導し、現場では3月上中旬に穂肥が施用された。播種の遅れた「農林61号」（11月下旬播種）でも3月25日までに作業が終わる予定である。

今年は播種時の除草剤がよく効いているほ場が多く、全般的には雑草の発生量が少ない。安八町の一部草の残っている畑で茎葉除草2剤の試験を実施した。後発の雑草に対する効果は高く、今後収量及び収穫時の作業性の向上について調査を行う。

■ 飼料用稲、飼料米 **新品種の導入**

養老町では1営農組織が稲発酵粗飼料（WCS）に取り組んでおり、昨年度から新品種の「たちすずか」を導入している。「たちすずか」は今年度約15ha作付され、農業普及課が調査ほを設けて生育・収量調査を行った。調査実績について営農組織に情報提供するとともに、栽培方法について助言を行った。

養老町では飼料米が約300ha作付されており、栽培品種は専用品種の「モミロマン」、「クサノホシ」である。昨年度産については稲こうじ病や籾の褐変症状が多く発生したため、JA担当者と病害対策について打ち合わせた。次年度病害多発ほ場について防除薬剤の試験ほを設けることとした。

■ 春だいこん **センチュウ対策実施中**

現在、牧園芸組合ではハウスだいこんが出荷されているが、ハウス内での連作によりセンチュウ密度が増加している事例がある。そこで、エダマメのダイズシストセンチュウ対策と併せて行った土壌消毒の効果を調査した。今後は、土壌消毒を実施したハウスでのエダマメに対する被害抑制効果を調査し、センチュウ対策の実施を推進する予定である。

多様な担い手の育成・確保

■ 法人化支援 **集落営農組織の法人化検討状況**

安八町のファーム入方営農組合が農事組合法人設立総会を3月29日に開催する。また、関ヶ原町の山中営農組合も3月28日に設立総会を開催する。両組合とも集落営農の法人化の検討を重ね、地域の農地を地域で守ることを目的として法人を立ち上げる。

その他の集落営農の法人化については、安八町の上村集落営農、輪之内町の上中郷・中郷下集落営農が組合員に設立の賛同を得て発起人による法人設立準備に入っている。

また、輪之内町の下大樽集落営農、大垣市墨俣地域の墨俣集落営農、神戸町の西保集落営農は集落営農の法人化についての役員研修を行った。

集落営農組織がない地域の組織づくりとしては、安八町南今ヶ淵において第2回の集落営農設立検討会が行われた。農業普及課では、役場、JA、農業会議、また、自治区、農業委員、農事改良組合長とともに集落の今後について支援していく。



【設立研修会の様子】

戦略的な流通・販売

■ 安八町農産物加工運営委員会 **新商品開発研究**

葉草部会、梅部会が、かねてより試作に取り組んでいた「ほうれん草パウンドケーキ」、「はちみつ梅」、「あじ梅」を安八町百梅園梅まつりバザーにて販売を行った。

「ほうれん草パウンドケーキ」は今年度岐阜県農産園芸課の米粉教室により商品化に繋げ、「はちみつ梅」、「あじ梅」は現地にて試作を重ね形にした。梅については、今回はテスト販売（約60パック）であり、販売結果を次年度にむけての検討材料とすることとした。



【安八梅まつりバザーの様子】